

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 5 区分

【発行日】平成 19 年 11 月 8 日 (2007.11.8)

【公開番号】特開 2006-111996 (P2006-111996A)

【公開日】平成 18 年 4 月 27 日 (2006.4.27)

【年通号数】公開・登録公報 2006-017

【出願番号】特願 2004-299107 (P2004-299107)

【国際特許分類】

D 0 4 B 7/30 (2006.01)

A 4 1 D 1/04 (2006.01)

D 0 4 B 1/24 (2006.01)

D 0 4 B 7/00 (2006.01)

【F I】

D 0 4 B 7/30

A 4 1 D 1/04 S

D 0 4 B 1/24

D 0 4 B 7/00 1 0 2

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 9 月 22 日 (2007.9.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1】

左右方向に延び、かつ、前後方向に互いに対向する少なくとも前後一对の針床を有し、後針床が左右にラッキング可能で、かつ、前後の針床間で編目の目移しが可能な横編機を用いて、ニットウエアを構成する少なくとも前身頃を第 1 の針床上に付属させ、後身頃を第 2 の針床上に付属させ、前後の身頃が編み幅の両端で接続された筒状体として身頃を裾から肩に向けて編成するとともに途中、前身頃を右前身頃と左前身頃とに分岐して、その間にネックホールを形成しながら前身頃を編成するとともに、これら左右の前身頃の編成の過程においてネックホール周縁部分の針を順次編成から外して不作用状態にしていく引き返し編成を行うことで前身頃に基端側が尖った V ネックのネックホールを形成した後、前身頃と後身頃のネックホール形成箇所を続けて編むようにしたニットウエアの編成方法であって、前記衿部の編成は以下のステップで行うことを特徴とする V ネックを有するニットウエアの編成方法。

1) V ネック尖端側の少なくとも 1 本のウエールには続く編目形成は行わず、V ネック尖端側を給糸口の折り返し箇所として、C 字を描くように衿部を右前衿部、後衿部、左前衿部、続いて左前衿部、後衿部、右前衿部と繰り返し編成するとともに、この編成過程において V ネック尖端付近の針を順次尖端に近い側から不作用状態にしていく引き返し編成を行って衿部を編成するステップ、

2) ステップ 1 で不作用とした衿部の V ネック尖端側ウエールに係止する針に対して給糸して続く編目を形成するステップ、

3) 前記形成された V ネック尖端側ウエールの編目と、この編目に隣接する右前衿部と左前衿部の引き返し編み部分の編目を重ねるステップ、

4) 上記ステップ 2 とステップ 3 を繰り返し行って V ネック尖端部を V 字状に成型するステップ、

5) 衿部の編み終わり部分に対して順次伏目編成を行って針から衿部を解放するステップ

。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 4】

左右方向に延び、かつ、前後方向に互いに対向する少なくとも前後一对の針床を有し、後針床が左右にラッキング可能で、かつ、前後の針床間で編目の目移しが可能な横編機を用いて、前後の身頃が編み幅の両端で接続された筒状体として身頃が裾から肩に向けて編成され、その途中、前身頃が右前身頃と左前身頃とに分岐され、その間にネックホールが形成され、左右の前身頃はネックホール周縁部を引き返し編成し、基端側が尖った V ネックのネックホールが形成され、前身頃と後身頃のネックホール形成箇所につけて編まれた衿部が、ネックホール形成箇所の V ネック尖端側の少なくとも 1 本のウエールを除いて、V ネック尖端側が給系の折り返し箇所となるように C 字を描くように衿部を右前衿部、後衿部、左前衿部、続いて左前衿部、後衿部、右前衿部と繰り返し編目コースが形成されており、かつ、この衿部はこの折り返し箇所が V ネック尖端に近い側から不作用状態にしていく引き返し編成がされており、左右の前衿部はこの引き返し部分の 編目が、続いて形成される V ネック尖端部のウエールの編目に重ね合わされ、さらに衿部の編み終わり部分に対して伏目処理が施されている横編機により編まれた V ネックを有するニットウェア。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

またもう一つの発明では、V ネックを有するニットウェアは、左右方向に延び、かつ、前後方向に互いに対向する少なくとも前後一对の針床を有し、後針床が左右にラッキング可能で、かつ、前後の針床間で編目の目移しが可能な横編機を用いて、前後の身頃が編み幅の両端で接続された筒状体として身頃が裾から肩に向けて編成され、その途中、前身頃が右前身頃と左前身頃とに分岐され、その間にネックホールが形成され、左右の前身頃はネックホール周縁部を引き返し編成し、基端側が尖った V ネックのネックホールが形成され、前身頃と後身頃のネックホール形成箇所につけて編まれた衿部が、ネックホール形成箇所の V ネック尖端側の少なくとも 1 本のウエールを除いて、V ネック尖端側が給系の折り返し箇所となるように C 字を描くように衿部を右前衿部、後衿部、左前衿部、続いて左前衿部、後衿部、右前衿部と繰り返し編目コースが形成されており、かつ、この衿部はこの折り返し箇所が V ネック尖端に近い側から不作用状態にしていく引き返し編成がされており、左右の前衿部はこの引き返し部分の 編目が、続いて形成される V ネック尖端部のウエールの編目に重ね合わされ、さらに衿部の編み終わり部分に対して伏目処理が施されている。